

2017/8/18

報道関係 各位

現代医学教育博物館 出張講座 in 津山洋学資料館 自分だけの「解体新書」を作ろう

川崎医科大学 現代医学教育博物館は、洋学(とくに医学)に歴史のある津山の津山洋学資料館において、小学4~6年生・中学生を対象とした出張講座を開催します。

津山洋学資料館では、毎年地域の小学生・中学生を対象にした夏休みワークショップを開催しています。今年は、川崎医科大学 現代医学教育博物館の職員が資料館に出向き“自分だけの「解体新書」を作ろう”と題した講座を開催します。

講座では、津山洋学資料館に展示されている解体新書をもとに歴史的医学資料と現代の医学教育との繋がりを学習します。そして、普段見ることのない本物の人体標本「脳、心臓、肺、胃」のスケッチにチャレンジしてもらいます。また、横隔膜と肺の構造を学習してもらうために、風船とペットボトルを使った肺模型の工作をします。

なお、ワークショップ1、2について、川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科の学生がサポートを担当します。

日時：平成29年8月26日(土) 13:30~15:00

会場：津山洋学資料館 GENPO ホール

対象：小学4~6年生・中学生 約20名 ※申し込み締切済み

内容：講演1「解体新書とは？」

津山洋学資料館 次長 乾 康二

講演2「人体の臓器について」

川崎医科大学 現代医学教育博物館 副館長 森谷 卓也

ワークショップ1「人体標本スケッチ」

ワークショップ2「肺模型作り」

主催：津山洋学資料館

協力：川崎医科大学 現代医学教育博物館

※「別紙1」のチラシ参照



■津山は洋学(とくに医学)の先進地

日本初の内科の医学書として多くの医師の教科書となった「西説内科撰要」は、津山の藩医であった宇田川玄随(げんずい)が著した。また、その後を継いだ宇田川玄真は、図入りの医学書「医範鄭提綱」を著して当時の医師に西洋医学を広めた。脾臓の「脾」やリンパ腺の「腺」という字(国字)をつくったことでも知られている。

<問合せ先>

◆講座の内容に関すること

川崎医科大学 現代医学教育博物館
担当:中村 信彦(課長)

Tel 086-462-1111 (内線:33206)

◆取材/講座に関すること

津山洋学資料館 担当:乾 康二(次長)

Tel 0868-23-3324

※2015年度、2016年度は、川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科との合同講座を行いました。
「別紙2」「別紙3」にてご確認ください。

C. 夏休みワークショップ参加者募集！！

自分だけの

「解体新書」

を作ろう



臓器標本をスケッチして、人体の仕組みを知ろう。

自分流の「解体新書」にチャレンジ！

日時 平成29年8月26日(土) 13:30~15:00

場所 津山洋学資料館 GENPOホール

指導 川崎医科大学現代医学教育博物館 中村信彦 先生ほか

定員 小学4~6年生、中学生 20名

参加料 無料

応募方法：「津山洋学資料館夏休みワークショップ係」まで、往復ハガキに

①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④学校と学年 ⑤希望のコース(C) を書いて送ってください。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募〆切：平成29年8月4日(金) 必着
 応募先：〒708-0833 津山市西新町5
 「津山洋学資料館 夏休みワークショップ係」
 お問い合わせ：津山洋学資料館 TEL 0868-23-3324

〒000 0000	津山市西新町5
往復ハガキ	津山洋学資料館
夏休みワークショップ係	

〒000 0000	お名前	住所
返信	ご記入ください	ここに①②③④⑤を ご記入ください

